

【参考資料】

復興・被災者支援に関する領域の評価ツールセット
(起業・就労（人材育成）支援分野)

平成 31 年 3 月

【参考資料】

1. ロジックモデル

本評価ツールが対象とする「起業・就労（人材育成）支援」分野の事業は、地域の復興・再生に向けた起業を支援したり、被災等により、無業状態またはそれに近い状態の方が、様々な就労支援を受けて一般就労（正規・非正規雇用を含む）を目指したりすることをサポートする取組が含まれます。具体的には、起業支援では、起業に係る知識やスキル習得のためのセミナー等のイベントや個別相談の実施、プロジェクト等のコーディネート、補助金や地域内動向等の情報提供などの取組が含まれます。また、就労支援については、キャリア・コンサルティングや個別求人開拓、履歴書の作成指導、面接対策などの取組が含まれます。

これらの取組により、起業・就労（人材育成）支援は、対象となる地域住民の起業や就労に関する能力が向上し、地域での新規ビジネスが増加したり、地域企業や組織への就労が増えたりすることを目指しています。そこで、図1のロジックモデルの一例では、起業・就労（人材育成）支援の最終目標を「起業・就労により地域が活性化する」および「地域への定住者数が増加する」と設定しています。

ロジックモデル案

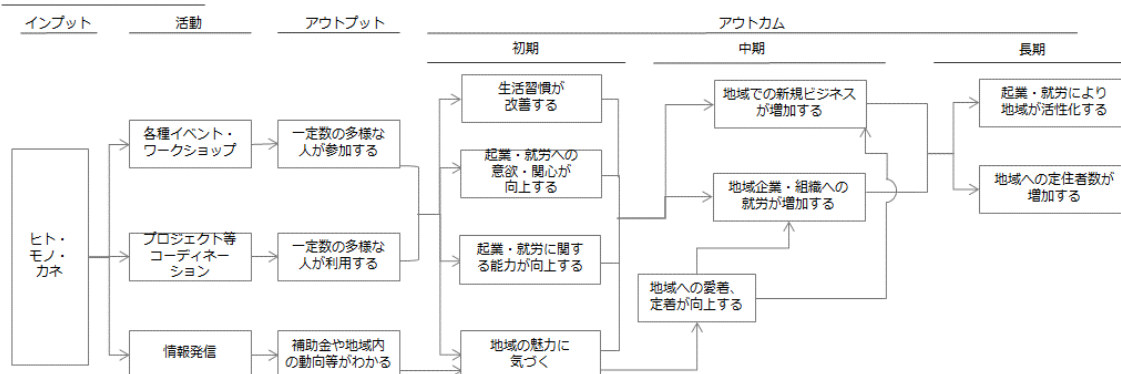


図 1： 起業・就労（人材育成）支援分野のロジックモデルの一例

ロジックの内容としては、まず活動のアウトプットの成果として初期アウトカムが現れますが、ここでは「生活習慣が改善する」「起業・就労への意欲・関心が向上する」「起業・就労に関する能力が向上する」「地域の魅力に気づく」の4つを抽出しています。

次に、初期アウトカムが生じた結果（多くの場合、それが繰り返して生じた結果）として中期アウトカムが現れますが、ここでは「地域での新規ビジネスが増加する」「地域企業・組織への就労が増加する」「地域への愛着、定着が向上する」を設定しています。

さらに、事業の最終目標となる長期アウトカムは、初期・中期アウトカムの延長線上に位置し、「起業・就労により地域が活性化する」および「地域への定住者数が増加する」と設定しています。

【参考資料】

2. 成果指標（評価指標）

1. のロジックモデルに基づき、表 1 のような成果指標の導入が考えられます。

表 1：起業・就労（人材育成）支援分野の成果指標（評価指標）の一例

種類	評価項目	指標
初期	生活習慣の改善	生活リズムの改善
	起業・就労への意欲・関心の向上	起業・就労への意欲・関心
	起業・就労に関する能力の向上	起業・事業起こし・仕事に関する知識や技能
	地域の魅力への気づき	地域に魅力を感じる人の数・割合
中期	地域での新規ビジネスの増加	地域での起業数・新規事業数、売上・収益
	地域企業・組織への就労増加	地域企業・組織への就労数
	地域への愛着、定着の向上	地域への愛着・定着を感じる人の数・割合
長期	起業・就労による地域活性	半年後の起業・就労の定着率
	地域への定住者数の増加	定住者数

3. 測定方法

これらの成果指標に対して、表 2 に示すような測定方法が考えられます。

表 2：起業・就労（人材育成）支援分野の測定方法の一例

種類	評価項目	測定方法
初期	生活習慣の改善	アンケート調査
	起業・就労への意欲・関心の向上	アンケート調査
	起業・就労に関する能力の向上	アンケート調査
	地域の魅力への気づき	アンケート調査
中期	地域での新規ビジネスの増加	二次情報調査（新規起業数データ）、事業者ヒアリング調査
	地域企業・組織への就労増加	二次情報調査（新規起業数データ）、事業者ヒアリング調査
	地域への愛着、定着の向上	アンケート調査
長期	起業・就労による地域活性	アンケート調査・二次情報調査
	地域への定住者数の増加	アンケート調査・二次情報調査

参考までに、表 2 に示した評価項目を測定するアンケート調査の例を以下に挙げます。

【参考資料】

ア) 生活習慣の改善に関するアンケート¹

起床、食事、睡眠などの生活リズムは規則正しいですか？

- 1：生活リズムは規則正しい。
- 2：生活リズムはだいたい規則正しい。
- 3：生活リズムはあまり規則正しくない。
- 4：生活リズムは規則正しくない。

イ) 起業・就労への意欲・関心の向上に関するアンケート

これまでよりも、起業や就労への意欲・関心が高まりましたか？

1. 大変そう思う
2. ある程度そう思う
3. どちらとも言えない
4. あまり思わない
5. 全く思わない

ウ) 起業・就労に関する能力の向上に関するアンケート²

①現在またはこれから行う復興・被災者支援の取組の課題解決・スキルアップにつながった。

1. 改善した
2. どちらかといえば改善した
3. 変わらなかった
4. どちらかといえば悪化した
5. 悪化した

※「4.」または「5.」を回答された方は、その理由をご記入ください。

②組織運営（労務、会計、広報、資金調達等）の課題解決・スキルアップにつながった。

1. 改善した
2. どちらかといえば改善した
3. 変わらなかった
4. どちらかといえば悪化した
5. 悪化した

※「4.」または「5.」を回答された方は、その理由をご記入ください。

エ) 地域の魅力への気づきに関するアンケート

これまでより地域に魅力を感じるようになりましたか？

1. 大変そう思う
2. ある程度そう思う
3. どちらとも言えない
4. あまり思わない
5. 全く思わない

¹ G8 社会的インパクト投資タスクフォース国内諮問委員会「社会的インパクト評価ツールセット」

² 平成 28 年度実施の絆力事業の各取組の受益者等へのアンケート（取組に対する受益者の満足度等アンケート）

【参考資料】

オ) 地域での新規ビジネスの増加に関するヒアリング

以前と比べて、地域での新規ビジネスの立上げが増えてきていると思いますか？

1. 大変そう思う
2. ある程度そう思う
3. どちらとも言えない
4. あまり思わない
5. 全く思わない

カ) 地域企業・組織への就労増加に関するヒアリング

地域の企業や団体への就労数が以前と比べて増えてきていると思いますか？

1. 大変そう思う
2. ある程度そう思う
3. どちらとも言えない
4. あまり思わない
5. 全く思わない

キ) 地域への愛着、定着の向上に関するアンケート³

⑤地元の良さを再認識し、誇りを持てるようになった。

1. 改善した
2. どちらかといえば改善した
3. 変わらなかった
4. どちらかといえば悪化した
5. 悪化した

※「4.」または「5.」を回答された方は、その理由をご記入ください。

ク) 起業・就労による地域活性に関するアンケート

起業や就労の増加によって、地域が活性化していると思いますか？

1. 大変そう思う
2. ある程度そう思う
3. どちらとも言えない
4. あまり思わない
5. 全く思わない

ケ) 地域への定住者数に関するアンケート⁴

アウトカム 8.2. 交流人口、UJI ターン者が増加する

指標 他の地域から移ってくる人が増えたと感じる人の割合

測定方法 質問紙を用いた調査

出所：

国土交通省国土政策局（2015）「国土形成計画（全国計画）のモニタリングに関する調査・分析業務 参考資料」 p.213

http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudoseisaku_tk3_000061.html

	まったく そう思わ ない	あまりそ う思わな い	どちらと も言えな い	少しそう 思う	大変そう 思う
他の地域から移ってくる人が増えた	1	2	3	4	5

³ 平成 28 年度実施の絆力事業の各取組の受益者等へのアンケート（取組に対する受益者の満足度等アンケート）

⁴ G8 社会的インパクト投資タスクフォース国内諮問委員会「社会的インパクト評価ツールセット」